

## 特別講演 1

### 「福井大学血液・腫瘍内科の取り組み」

福井大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科教授

山内 高弘 先生

福井大学血液・腫瘍内科では血液疾患、悪性腫瘍疾患、高尿酸血症・痛風を主たる対象疾患としています。血液疾患のなかでは白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫といった造血器悪性腫瘍の化学療法を診療の中心に据えています。中でも白血病の治療を最も得意とします。日本血液学会の診療ガイドライン作成委員、日本成人白血病治療研究グループで再発難治白血病委員長を担当し、さまざまな臨床試験、新薬の治験、新治療の開発を行っています。悪性腫瘍疾患として、他科が担当しない原発不明がんや特殊な化学療法をおこなう疾患を診療しています。高尿酸血症・痛風の分野でも日本痛風・核酸代謝学会の診療ガイドライン作成委員を担当し、高尿酸血症の病型分類に基づき適切な薬剤を選択し診療をおこないます。他大学とも連携して特殊な病型に対する分子レベルの解析をおこないます。以上のような多面的で深くそして最新の取り組みにより患者さんにベストの医療を提供できますよう鋭意努力をいたしております。